

平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年11月7日

上場会社名 株式会社ネクストジェン 上場取引所 東
 コード番号 3842 URL http://www.nextgen.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 新二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 景山 薫 TEL 03-3234-6855
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の業績（平成25年1月1日～平成25年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	1,316	△2.3	△119	—	△126	—	△129	—
24年12月期第3四半期	1,347	6.8	△138	—	△143	—	△144	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	△66.63	—
24年12月期第3四半期	△74.38	—

(注) 当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、1株当たり四半期純利益の金額は、前事業年度の期首に当該分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第3四半期	1,531	914	59.7	467.94
24年12月期	1,793	1,043	58.2	534.95

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 914百万円 24年12月期 1,043百万円

(注) 当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、1株当たり純資産の金額は、前事業年度の期首に当該分割が行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年12月期	—	0.00	—		
25年12月期（予想）				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年12月期の業績予想（平成25年1月1日～平成25年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,250	6.5	110	24.1	100	20.1	90	7.2	46.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

(注) 当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、1株当たり当期純利益については、当該分割の影響を考慮して記載しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期3Q	1,954,900株	24年12月期	1,949,900株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	一株	24年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期3Q	1,950,303株	24年12月期3Q	1,937,490株

（注）当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、業績予想の1株当たり当期純利益金額については当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、金融緩和をはじめとする経済対策等の期待感から、企業収益の改善や設備投資意欲の高まり、また個人消費の持ち直し等がみられ、国内景気回復への期待感が高まっておりますが、アメリカの財政状況など海外における経済不安や景気の減速が続いており、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

通信サービス事業分野においては、クラウドサービスの市場拡大やスマートフォンの急速な進展に伴い、企業においては新たな情報サービスへの期待が高まってきております。一方で激化するサイバー攻撃、大規模災害リスクの顕在化など情報資産を守るセキュリティ対策が急務となっております。

こうした状況の下、当社では大手通信事業者をターゲットとしたコンサルティング、開発、製品提供、技術支援、構築工事、物販、サポート等が一体となった通信システム・ソリューションの提案を行ってまいりました。

また、セキュリティ関連においては、ソリューションの提供だけでなく、セキュリティ情報の発信など啓発活動を行ってまいりました。

ソリューション別の概況は次のとおりであります。

[通信システム・ソリューション]

通信システム・ソリューションにおいては、昨年度来継続している大手通信事業者向けの故障受け付けを行う大規模なシステム構築について、全国規模で拡大導入してまいりましたが、当第3四半期においては日本国内拠点の更改のみならず、海外拠点向けの構築まで堅調に推移してきており、売上に貢献いたしました。

通信システム・ソリューションの当第3四半期累計期間の売上高は、上記システム構築等の貢献もありましたが、前年同期比で他社ライセンス製品の販売が減少したことにより、1,133,304千円（前年同期比7.0%の減少）となりました。

[セキュリティ・ソリューション]

セキュリティ・ソリューションにおいては、近年企業電話のIP化が急速に進んでいる一方で、第三者が利用者になりすまして、国際電話を不正に利用し発信することで高額な通話料を請求される等、「なりすまし」や「乗っ取り」の被害が拡大しており、セキュリティ対策の重要性が高まっております。

当社では当第3四半期において、モバイルデータ通信網向けのセキュリティ診断を受注する等、従来のSIP/VoIPの市場以外にもビジネスを積極的に拡大し、売上に寄与することとなりました。

セキュリティ・ソリューションの当第3四半期累計期間の売上高は129,807千円（前年同期比78.6%の増加）となりました。

[クラウド&スマートフォン・ソリューション]

クラウド&スマートフォン・ソリューションにおいては、当社ソリューション「3PCCシステム(※)」が大手通信事業者で採用されました。このシステムは電話サービスに組み込まれるクラウド型のアドレス帳サービスとして利用され、PCやスマートフォンから容易に電話がかけられることから、中小企業におけるBYOD(Bring Your Own Device)普及にもつながってまいります。

クラウド&スマートフォン・ソリューションの当第3四半期累計期間の売上高は53,753千円（前年同期比4.4%の減少）となりました。

(※) 特許第3699720号「第三者制御にて2者通話を実現する通信システム及び通信制御方法」を含むシステム

以上の結果、当第3四半期累計期間における当社の業績につきましては、売上高は1,316,865千円（前年同期比2.3%の減少）となりました。

売上原価は、873,191千円（前年同期比13.5%の減少）となり、売上総利益は443,674千円（前年同期比31.2%の増加）となりました。前年同期比で売上総利益が改善しているのは、固定費の圧縮に努めたことと、プロジェクトにかかる稼働関係の良化によるものです。

販売費及び一般管理費については、第4四半期に向けた案件発掘のための営業活動費が増加したこと、また通話録音・音声認識ソリューションの研究開発に注力し研究開発費が増加したこと等により、562,894千円（前年同期比18.0%の増加）となりました。

これにより、営業損失119,219千円（前年同期は営業損失138,594千円）、経常損失126,020千円（前年同期は経常損失143,214千円）、四半期純損失129,955千円（前年同期は四半期純損失144,112千円）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は1,531,624千円となり、前事業年度末と比べて261,726千円減少となりました。減少の主な要因は、前事業年度末に計上された売掛金が回収等により306,741千円減少したこと、一方で保守費用等の前払費用の増加30,447千円、販売用ソフトウェア資産の開発等による無形固定資産の増加16,944千円等によるものです。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債の総額は616,847千円となり、前事業年度末と比べて133,400千円の減少となりました。減少の主な要因は、借入金の返済94,190千円、前事業年度末に計上された買掛金が支払等により30,662千円減少したこと、未払消費税等が21,683千円減少したこと、一方で年間保守売上の前受け等により前受金が22,302千円増加したこと等によるものです。

(純資産)

純資産は914,776千円となり、前事業年度末と比べて128,325千円減少となりました。減少の要因は、四半期純損失を計上したことにより利益剰余金が129,955千円減少したこと、新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ815千円増加したことによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

本資料に記載されている業績予想につきましては、平成25年2月12日に公表いたしました業績予想から変更はございません。今後、業績予想数値に修正が生じる場合は速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	446,605	450,412
売掛金	717,380	410,639
仕掛品	719	8,036
原材料	76,988	79,128
前払費用	35,319	65,766
繰延税金資産	27,418	29,933
その他	3,020	2,384
貸倒引当金	—	△388
流動資産合計	1,307,452	1,045,913
固定資産		
有形固定資産		
建物	20,484	20,484
減価償却累計額	△11,247	△12,397
建物(純額)	9,236	8,087
工具、器具及び備品	238,648	220,021
減価償却累計額	△180,330	△173,080
工具、器具及び備品(純額)	58,318	46,941
有形固定資産合計	67,555	55,028
無形固定資産		
ソフトウェア	286,084	325,095
ソフトウェア仮勘定	76,292	54,225
無形固定資産合計	362,376	379,320
投資その他の資産		
投資有価証券	10,909	10,909
差入保証金	39,581	39,581
繰延税金資産	5,466	861
その他	10	10
投資その他の資産合計	55,966	51,362
固定資産合計	485,898	485,711
資産合計	1,793,350	1,531,624

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	216,389	185,726
短期借入金	—	50,000
1年内返済予定の長期借入金	176,388	144,308
リース債務	909	388
未払金	20,931	14,939
未払費用	12,190	9,398
未払法人税等	3,663	1,407
未払消費税等	29,305	7,622
前受金	31,097	53,400
預り金	3,542	6,395
製品保証引当金	900	500
流動負債合計	495,318	474,087
固定負債		
長期借入金	246,900	134,790
リース債務	156	—
資産除去債務	7,873	7,970
固定負債合計	254,929	142,760
負債合計	750,247	616,847
純資産の部		
株主資本		
資本金	489,248	490,063
資本剰余金	439,248	440,063
利益剰余金	114,606	△15,349
株主資本合計	1,043,102	914,776
純資産合計	1,043,102	914,776
負債純資産合計	1,793,350	1,531,624

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,347,445	1,316,865
売上原価	1,009,204	873,191
売上総利益	338,241	443,674
販売費及び一般管理費	476,835	562,894
営業損失(△)	△138,594	△119,219
営業外収益		
受取利息	107	112
為替差益	1,665	—
その他	—	45
営業外収益合計	1,772	158
営業外費用		
支払利息	6,392	4,606
為替差損	—	2,352
営業外費用合計	6,392	6,959
経常損失(△)	△143,214	△126,020
特別損失		
固定資産除売却損	36	1,133
特別損失合計	36	1,133
税引前四半期純損失(△)	△143,251	△127,154
法人税、住民税及び事業税	712	712
法人税等調整額	148	2,088
法人税等合計	861	2,801
四半期純損失(△)	△144,112	△129,955

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社は、通信技術に関するソリューション提供を事業とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。